

一般社団法人 日本薬学教育学会  
2019年度第5回理事会 議事録

開催日時：2020年6月6日（金）10：00～13：00

開催場所：Zoom（WEB会議システム）による開催

理事：乾 賢一、中村明弘、有田悦子、石川さと子、入江徹美、亀井美和子、  
小佐野博史、鈴木 匡、永田泰造、西口工司、長谷川洋一、安原智久、  
木内祐二、小澤光一郎

<欠席>石井伊都子、平田收正

監事：小池啓三郎

<欠席>市川 厚

事務局：斎藤 渉、村上 聡

議事：

1. 2019年度第4回理事会議事録（案）について

中村理事より前回理事会の議事内容が議事録（案）に基づいて報告された。

2. 役員選任進捗について

事務局から、理事長の指示のもと日本薬剤師会と日本病院薬剤師会に非選挙理事の推薦依頼を行ったことが報告され、依頼文書が資料として提示された。両団体とも役員改選の時期であることを考慮して、締切日は6月30日に設定された。

選挙結果の開票は事務局で行い、選挙管理委員にメールで報告する予定であることが確認された。有権者は523名で投票率は約30%であることから、未投票の有権者にメールを送信して締切日6月10日までの投票を促すこととした。

3. 第5回大会の準備状況について

小佐野理事より第5回大会の開催形式をWEB開催に変更したことが報告された。発表はパワーポイントに音声を入れてMP4ファイルとして発表することを基本とし、オンデマンドで1～2週間公開することを検討している。開会式、特別講演、教育講演は事前収録とする。シンポジウムは16件で1日目8件、2日目8件で、シンポジストは音声入りパワーポイント（MP4ファイル）を所定の時間から配信する。9月12・13日の両日とも双方向のライブ配信も実施し、オーガナイザーとシンポジストとのライブでのディスカッションや、参加者との質疑応答も検討中である。ワークショップも7件中4件はライブ配信で開催する予定である。一般演題はパワーポイントファイルを2日間掲示し、チャットでディスカッションする。学生の発表については2日目に時間を設ける。

大会をWEB開催で実施することは、6月15日（月）に大会ホームページで公表する。参加費は会員8,000円、非会員10,000円で参加登録の締切日は8月21日とする。協賛企業のWEB上での広告掲載方法については検討中である。

学会賞の授賞式は摂南大学薬学部の講堂で、乾理事長、安原理事、受賞者が出席してライブ配信で実施することとした。今後は安原理事と小佐野理事が相談しながら準備を進めることとした。

石川理事からはライブではなく一定期間にわたって公開する場合、著作権に留意する必要があることが指摘された。

小池監事より、日本私立薬科大学協会と全国薬科大学長・薬学部長会議の大会後援名義の掲載について質問があり、ホームページで掲載予定であることが確認された。

WEB開催の予算は553万円で、参加者は400人を想定している。参加者人数が想定を下回った場合も、学会として繰越金が約1,000万円あり、大会経費支払いの補填が可能であることが確認された。

本学会としては大会のWEB開催を契機として、各委員会活動もICTを積極的に活用していくこととした。

#### 4. 第5回定時社員総会のオンライン開催について

第5回大会のWEB開催に伴って、社員総会もWEB開催とすることが事務局より提案された。一般社団法人の社員総会の開催時期と方法については、内閣府から新型コロナウイルスの感染拡大を受けた対応が提示されており、WEB開催は可能である。協議の結果、社員総会を大会より前にオンラインで開催し、大会時には総会で議決された内容を公開することとした。社員総会のWEB開催に向けて具体的な準備を学会事務局と総務担当理事が中心となって進めることとした。

#### 5. 2019年度 予算執行状況について

財務担当の亀井理事より5月31日時点での執行状況が資料に基づいて報告された。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、予算執行できない項目の確認を行った。

#### 6. 2020年度 委員会等の活動計画と予算について

薬学実務実習委員会の鈴木理事より、3月に開催予定であった第5回大会プレ企画シンポジウムがコロナ禍で中止となったが、「実務実習の評価のあり方」等についてオンラインで協議する企画を改めて検討することが報告された。倫理教育委員会の有田理事からは、資料に基づいて、全国の薬系大学を対象として「薬剤師としての基本的な資質の評価」に関する調査および情報交換を行う計画と予算が紹介された。安原理事からは、3月の開催が中止となった「教育コンピテンシーの全国測定に関する研究会」について、状況がゆるせば集まってグループ討論を行い、第5回大会のシンポジウムにつなげる予定であることが報告された。

#### 7. 2021年度第6回大会および2022年度第7回大会の開催校について

第6回大会開催校である名城大学の長谷川理事より、令和3年9月11日・12日が開催候補日程であるが、FIPの開催予定(9月12日～)を考慮して8月28日・29日も候補として検討中であることが報告された。次回理事会までに開催日を決定する予定とのこと。

2022年度の第7回大会開催校については、乾理事長が次回理事会までに候補を調整することとした。

#### 8. 編集委員会報告

編集委員長の入江理事より、「薬学教育」のJ-STAGE公開状況と、「薬学教育」への論文投稿・審査状況が資料に基づいて報告された。編集委員の任期を定めておらず、編集委員の交代等も含め、今後の編集委員会のあり方について次回理事会で提案する予定である。

#### 9. 広報活動について

広報担当の石川理事より、広報活動の現状が報告された。2019年度教育研究奨励賞及び教育実践奨励賞受賞者のホームページでの公表は、第5回大会での受賞者講演の実施確定後、直ちに行うこととした。第5回大会、第5回定時社員総会、そして第6回大会についても会員への広報を行っていくことを確認した。

#### 10. 現在の会員登録状況について

事務局より資料に基づいて会員登録状況が報告された（2020年6月1日現在、個人会員631名、学生会員49名、機関会員65件、賛助会員8件で計753名）。理事長より2020年4月に新設された薬学部機関会員としての入会を依頼する予定であることが報告された。

#### 11. その他

- ・小佐野理事より、現在の理事は学会設立時の経緯から関東以西の大学・団体所属者で構成されているが、オンライン会議の導入により今後は北海道・東北地区からの理事選出についても積極的に検討すべきとの提案がなされた。
- ・理事会の開催スケジュールと次回理事会の開催について  
次回理事会は7月27日（月）以降で日程調整を行い、定時社員総会の開催日程についても事務局で調整することとした。

（議事録文責：中村明弘）

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2020年 6月 6日

一般社団法人日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事 小池啓三郎